関西大学博物館
ミュージアム講座 2026

大阪人も知らない?!

こんなに面白い大阪の日本画

講演１

13：30〜14：15

「大阪画壇へのアプローチ
〜その方法と展開について〜」
講師：明尾 圭造 氏
（大阪商業大学公共学部教授
商業史博物館主席学芸員）

講演２

14：15〜15：00

「美術史を塗り替える？「近代大阪の日本画」
——研究の最前線とこれからの可能性」
講師：林野 雅人 氏
（大阪中之島美術館学芸課長代理）

2026年
12月12日（土）

時間：13：30〜15：00 （13：00受付開始）

会場：関西大学博物館

定員 40名（先着申込順）

受講料 無料

お申し込みは
こちらから

関西大学博物館ホームページからも申し込み可能

申し込み開始：11月12日（木）9：00〜



関西大学博物館
Kansai University Museum

講演内容

大阪画壇へのアプローチ
～その方法と展開について～

講師：明尾（あけお） 圭造（けいぞう） 氏
（大阪商業大学公共学部教授
商業史博物館主席学芸員）

近年、海外でも脚光を浴びつつある大阪画壇。実際には興味深い作家や多くの作品が残されているにも関わらず、地元大阪での評価が上がらないのは何故か？最近、話題となっている「船場派」のネーミングや取り上げるべき重要な画家について、これまでに関係してきた展覧会や調査をもとにお話します。

■共著書
『モダニズム出版社の光芒』（2000）淡交社
『モダン道頓堀探検』（2005）創元社
『古地図で見る阪神間の地名』(2005) 神戸新聞総合出版センター
■企画担当・監修展覧会
「阪神間モダニズム」(1997)、「伊勢物語と芦屋」（2000）、「モダニズムを生きる女性 阪神間の化粧文化」（2002）以上、芦屋市立美術博物館
「浪花慕情ー菅楯彦とその世界ー」（2014）大阪商業大学商業史博物館
「京の大家と知られざる大坂画壇」（2022）京都国立近代美術館

美術史を塗り替える？
「近代大阪の日本画」
――研究の最前線とこれからの可能性

講師：林野（はやしの） 雅人（まさと） 氏
（大阪中之島美術館学芸課長代理）

近代大阪の日本画壇は、近年再評価が進められており、東京・京都中心の近代美術史を塗り替える可能性を秘めています。本講演では、都市の活力を背景に、伝統に縛られず個性を重んじた画壇の魅力をお伝えすべく、近年再発見された重要作品の数々を紹介しながら、最新の研究事情とこれからの可能性についてお話します。

■企画担当展覧会
「没後50年 菅楯彦」（2014） 鳥取県立博物館
「大阪の日本画」（2023）、「大英博物館 日本美術コレクション」（2026）以上、大阪中之島美術館



参加申し込み

受付開始：2026年11月12日（木）9：00～ 定員：40名（先着申込順） 参加費：無料

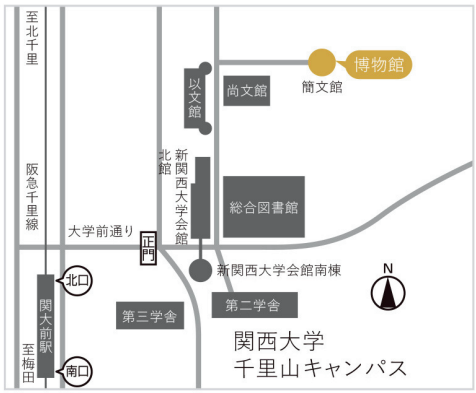
参加を希望する方は、右側の二次元コードまたは博物館のHPのお知らせからお申し込みください。個人情報の取り扱いは厳重に行い、本講座の運営以外には使用いたしません。

※講座へのご参加にあたり、合理的配慮をご希望の場合には、準備の都合上11月30日（月）までに関西大学博物館（下記問い合わせ先）に、ご希望の内容をお知らせください。ご希望内容を確認のうえ、できる限りの対応を検討いたします。

関西大学博物館
ミュージアム講座 2026

大阪人も知らない?!
こんなに面白い大阪の日本画

【アクセス】 交通アクセス阪急電鉄梅田（大阪）駅から阪急千里線北千里行き乗車。十三・南方・淡路を経て「関大前」駅下車（約20 分）。地下鉄堺筋線（阪急電車千里線相互乗り入れ）天下茶屋駅方面から日本橋・北浜・天神橋筋六丁目・淡路を経て「関大前」駅下車（約30 分）。関大前駅 北改札口から徒歩約10 分。



KANSAI UNIVERSITY MUSEUM SINCE1994
関西大学博物館
Kansai University Museum

【お問合せ】
〒564-8680　大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL：06-6368-1171　FAX：06-6388-9928
https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/

表面画像：武部白鳳《十二ケ月名画帖》（部分）（関西大学博物館蔵）